

国 語 科

1 国語科でねらうもの

学習指導要領の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

国語科の学習では、上記の目標を踏まえ、言語能力を育成するとともに、国語を尊重する態度を育て、日常の言語生活を豊かに充実させることを通して、人間性を高めていくことをねらいとしている。

国語を適切に表現し 正確に理解する能力	○国語を適切に使ったり、国語を使って内容や事柄を適切に表現したりする力を育てる。
伝 え 合 う 力	○国語の使い方を正確に理解したり、国語で表現された内容や事柄を正確に理解したりする力を育てる。 ○人と人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して適切に表現したり正確に理解したりする力を育てる。
思考力・想像力及び言語感覚	○言語を手がかりとしながら論理的に思考する力や、豊かに想像する力を育てる。 ○言葉の使い方についての鋭い感覚、あるいは感性を高める。
国語を尊重する態度	○国語を大切にし、一層よいものに発展させようとする態度を育てるとともに、言語を通しての自己形成、社会生活の向上、文化の継承・発展を目指す。

2 学習指導要領の特色

(1) 基本方針

言語の教育としての立場を一層重視し、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるとともに、実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付け、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育てる。

(2) 具体的事項

① 「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」

- ア 日常生活に必要とされる言語活動を行う能力を確実に身に付けることができるよう、継続的に指導する。
- イ 課題に応じて必要な文章や資料等を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決していく能力の育成を重視する。
- ・低学年では、見たことや知らせたいことを記録し説明や紹介をしたり、体験したことを報告したりする能力を育成する。
 - ・中学年では、調べたことや観察・実験したことを記録・整理し、説明や報告にまとめて書き、資料を提示しながら発表することができる能力の育成を図る。
 - ・高学年では、目的に応じて自分の立場から解説や意見、報告を書き、理由や根拠を示しながら説明することができるとともに、自らの言語活動を振り返ることができる能力の育成を図る。

② 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

- ア 物語や詩歌などを読んだり、書き換えたり、演じたりすることを通して、言語文化に親しむ態度を育成することを重視する。
 - イ 認識や思考及び伝え合いなどにおいて果たす言語の役割や、相手に合わせた言葉の使い方や方言など、言語の多様な働きについての理解を重視する。
 - ウ 発音・発声、文字、表記、語彙、文及び文章の構成、言葉遣い、書写については、実際の言語活動において有機的にはたらくよう、関連する領域の内容に位置付けるとともに、必要に応じてまとめて取り上げる。
- ③ 言語文化としての古典に親しむ態度を育成するため、易しい古文や漢詩・漢文について音読や暗唱を重視する。
- ④ 漢字の指導は、上の学年に担当されている漢字や学年別漢字配当表以外の常用漢字についても、必要に応じて振り仮名を用いるなど、日常生活において確実に使えることを重視し、児童の習得の実態に応じた指導を充実する。
- ⑤ ローマ字の指導は、情報機器の活用や他の学習活動等との関連を考慮し、より早い段階から指導する。
- ⑥ 書写の指導は、実際の日常生活や学習活動に役立つよう、内容や指導の在り方を改善する。
- ⑦ 敬語の指導は、実際の場面において使い慣れることを重視する。
- ⑧ 言葉のきまりの指導は、書くことや読むことなどに関連付ける。
- ⑨ 日常的に読書に親しむようにすることや、図書館の利用の仕方などを内容に位置付ける。
- ⑩ 和歌・物語・俳諧、漢詩・漢文などの古典や、物語、詩、伝記、民話などの近代以降の作品を取り上げる。

3 道徳との関連

国語による表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高めることは、学校の教育活動全体で道徳教育を進めていく上で、基盤となるものである。また、思考力や想像力及び言語感覚を養うことは、道徳的心情や道徳的判断力を養う基本になる。さらに、国語を尊重する態度を育てることは、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである。

4 国語科における言語活動

国語科の目標は、言語活動の基礎となる言葉の力（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）を育成することである。そのため、国語科で取り扱う活動はすべて言語活動である。ただし、本計画案では、各単元における中心的な活動を言語活動として一部明記した。これは他教科との関連を示すものではないので留意したい。